

平成 30 年度事業計画(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

□ 定款より

(事業)

第 4 条 この法人は、第 3 条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 日本の伝統文化及び現代芸術の分野における優秀な新人及び文化・芸術の研究者に対する助成
- (2) 日本の伝統文化及び現代芸術の分野で著しく貢献している者に対する顕彰
- (3) 芸術系大学等に在学する学生及びその他の学生に対する奨学金の給付
- (4) 日本の伝統文化及び現代芸術を、不特定多数の人々に提供するための文化・芸術活動の実施
- (5) 文化・芸術の交流を通じて国際社会の相互理解を促進する事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業については本邦及び海外において行うものとする。

公益目的事業 1 「創造する伝統賞」の主催

➤ 予算:480 万

◆ 助成顕彰事業「**創造する伝統賞**」の主催(定款第 4 条(1)(2)(5))

(1) 賞

賞金 総額 300 万円

創造する伝統大賞 @200 万円(該当者がある場合のみ)

創造する伝統賞 @100 万円

(2) 対象

下記のいずれかに該当する者で、年齢・国籍に関わらず日本国内で活動する者

- ① 日本の伝統文化・現代芸術の諸分野において、画期的で意義深い活動をしている技能者・研究者・アーティストで、著しく貢献しているにも関わらず、社会的評価を受けることが難しい者
- ② 日本の伝統文化・現代芸術の諸分野において新たな発展に資する活動を行っており、将来にわたり活動が期待される者

(3) 募集方法

公募のほか推薦委員より候補者を列举

(4) 選考方法

選考委員会を開催し、候補者より選出後、理事会で決定

(5) 応募受付期間

平成 30 年 6 月 1 日～6 月 30 日

(6) 結果発表

平成 30 年 11 月上旬に発表、平成 31 年 2 月上旬に授賞式典を実施

(7) その他

歴代受賞者のフォローアップ

- ・ ホームページや SNS を利用した活動状況の収集、発信
- ・ 展覧会、アトリエ、公演等、活動状況の視察
- ・ 文化芸術活動事業への招致
- ・ 展覧会、公演等への協力(チケット買上、宣伝、その他制作協力等)

公益目的事業 2 芸術系大学等に在学する学生及びその他の学生にたいする奨学金の給付

➤ 予算:1,270 万

◆ 育英事業(定款 4 条(3))

➤ 予算:720 万

1. 日本文化芸術奨学金

(1) 給付人数及び金額

大学院生 6 名 奨学金 1 年間 50 万円給付

(2) 対象

次の条件を充たし、文化・芸術の分野で将来にわたり活動が期待され、才能・可能性が認められる者

- ① 国内の芸術系大学の大学院に就学しており、かつ次年度在籍予定者であること
- ② 学業成績、生活態度共に優秀で、健康な学生であること

※対象の大学は、国内の芸術系の大学・大学院で実技部門を設けている大学とする。

ただし、音楽部門は除く。

(3) 募集方法

公募(芸術系大学への案内、WEB サイト等で告知)

(4) 応募受付期間

平成 30 年 6 月 1 日～6 月 11 日

(5) 選考方法

選考委員会を開催し、候補者を選出後、理事会で決定

(6) 給付方法

決定通知後、本人の口座に 2 月と次年度 7 月の 2 回に分割して支給

(7) 結果発表

平成 30 年 11 月上旬に発表、平成 31 年 2 月上旬に授与式を実施

(8) その他

歴代受給者のフォローアップ

- ・ ホームページや SNS を利用した活動状況の収集、発信
- ・ 展覧会、アトリエ、公演等、活動状況の視察
- ・ 文化藝術活動事業への招致

2. 加藤定奨学金

(1) 給付人数及び金額

学部生 8 名（京都 3 名／全国 5 名） 奨学金 1 年間 30 万円給付

(2) 対象

次の条件を充たす者

- ① 国内の芸術系大学の 2 年生及び 3 年生に就学し、かつ次年度在籍予定者であること
- ② 学業優秀、品行方正でありながら経済的事由によって就学に支障をきたしている学生であること

※ 対象の大学は、国内の芸術系の大学・大学院で実技部門を設けている大学とする。
ただし、音楽部門は除く。

(3) 募集方法

公募(芸術系の大学への案内 WEB サイト等で告知、応募は各大学で取りまとめて行う)

(4) 応募受付期間

平成 30 年 6 月 1 日～6 月 11 日

(5) 選考方法

選考委員会を開催し、候補者を選出後、理事会で決定

(6) 給付方法

決定通知後、本人の口座に 2 月と次年度 7 月の 2 回に分割して支給

(7) 選考委員について

「日本文化藝術奨学金」とあわせて選考を実施する

3. 25 周年記念助成

➤ 予算:550 万

設立 25 周年を記念し、これまでの奨学生を対象とした助成の実施

※第 3 号議案 25 周年記念事業の実施について(p.4) 参照

○ 実行委員会の開催

- ・ 会場の選定
- ・ 開催日の決定
- ・ 出展者の選定
- ・ その他 広報等準備

公益目的事業3 自主企画公演、展示・体験活動・セミナー・映画上映・演奏会等の文化祭の開催、ホームページでの情報発信、および実施事業の記録

➤ 予算:250万 (文化芸術活動)

➤ 予算:200万 (公益事業共通)

◆ 文化芸術普及活動事業(定款第4条(4)(6))

1. 「創造する伝統 杜の中の文化祭」

➤ 予算:150万

当財団の基本理念である「創造する伝統」を体現する実技者(これまでの助成顕彰受賞者)を中心とした催しを開催。文化・芸術への興味を深め、親しむことを目的とする。

実施概要:

①【中今茶会】

明治神宮内の茶室「隔雲亭」を会場とした茶会。これまでの助成顕彰事業受賞者、育英事業受給者に協力を求め、彼らの作品を配し、小川流煎茶による茶席を設ける。

会 場:明治神宮「隔雲亭」

開催日時:平成30年11月中旬(予定)

特別協力:明治神宮(予定)

協 力:小川流煎茶

後 援:京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

出 展:風間サチコ/美術家 (第8回創造する伝統賞)、
その他1~2名

②【CAC(Cross the Arts and Culture)】

これまでの助成顕彰事業授賞者および奨学金受給者、当財団の役員・委員を招聘し、多分野の文化芸術をとりあげた講演会やワークショップ、ミニコンサートなどのイベントを行う。

会 場:京都造形芸術大学・東北芸術工科大学 外苑キャンパス

開催日時:平成30年5月3日(予定)

後 援:京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

協 賛:マルオカ工業(株)、アワガミファクトリー、(株)AKAI、(株)墨運堂、
(株)名村大成堂、ナカガワ胡粉絵具(株)、(株)クサカベ、松田油絵具(株)、
ホルベイン工業(株) ほか(予定)

内 容:

① 講演 <水と文化—日本美術を科学でひも解く(仮)>

水を軸に日本の食文化と日本美術を比較し、地域性と美術を科学でわかりやすく説明し、日本の芸術・文化をとりまく環境について考察する。

講師:青木芳昭/美術家・技法材料学(第7回創造する伝統賞)

② ワークショップ <万華鏡でのぞく私の世界(仮)>

自分にとっての「心地良さ」を万華鏡づくりをとおして、可視化していくことに挑戦する。

講師:野原邦彦/彫刻家(日本文化藝術奨学金 H18 年度奨学生)

③ 交流会

日本に古くからある画材を取り巻く状況や、最先端の画材の潜在能力を深く理解する機会として、画材メーカーに協力を仰ぎ、情報交換の場を提供する。

ゲスト:青木芳昭/美術家・技法材料学(第7回創造する伝統賞)

2. 茶論 四季おりおり

➤ 予算:10万

毎回定員20名程度で開催。少人数でしかできない参加型の企画。

当財団の趣旨をよく理解し、協力を続ける核となる会員の獲得・定着を目指し、文化・芸術への支援者、作家、専門家の交流の場とする。

実施概要:

① 【五山の送り火鑑賞】

京都の夏の文化と芸術を堪能し、支援者の交流を深める。

※現地集合現地解散

会 場:京都造形芸術大学 瓜生山キャンパス ほか

開催日時:平成30年8月16日

協 力:京都造形芸術大学

3. ブログ「四季おりおり」

➤ 予算:20万

日本の文化芸術について紹介するブログ。

U R L:<http://blog.canpan.info/shikioriori/>

テ ー マ:季節の音めぐり

更 新:毎月1日(月1回)

実施概要:茂手木潔子氏(第2回日本伝統文化奨励賞)の研究対象であり、コレクションである民間に伝承される楽器(木魚・ササラなど)を、季節に合わせたエピソードとともに紹介する。平成29年度より引き続いての連載。

公益事業共通(定款第4条(4)(5)(6))

4. WEBサイトの運営

➤ 予算:60万(公益事業共通)

WEBでの告知、情報公開

- ① ホームページ <http://jp-artsfdn.org/>
- ② facebook <https://www.facebook.com/jparts.fdn>
- ③ twitter <https://twitter.com/jpartsfdn>

内 容:

- ・ 主催イベント等の告知、申込受付
- ・ 「創造する伝統賞」および奨学金事業の募集告知、資料請求受付
- ・ 文化藝術の会入会案内、入会受付、会員管理
- ・ これまでの助成顕彰事業授賞者、育英事業奨学生の活動紹介